



障害者が地域活性に貢献 玖珠町地方創生プロジェクト 「玖珠・森のクレヨン」／「森の米蔵」開所式 旧豊後森機関庫に新しい観光拠点がオープン

日時：2018年6月10日（日）10:00～10:30

場所：「玖珠・森のクレヨン」（大分県玖珠郡玖珠町大字帆足 449-1）／「森の米蔵」

この度、日本財団（東京都港区、会長笹川陽平）、社会福祉法人暁雲福祉会（大分県大分市、理事長丹羽一誠）、大分県玖珠町（町長宿利政和）は、大分県玖珠町旧豊後森機関庫を拠点として、障害者が働くカフェ・レストラン「玖珠・森のクレヨン」及び、多目的交流スペース「森の米蔵」を開所いたします。本施設は、日本財団が全国で実施している障害者就労支援事業「はたらくNIPPON!計画」における、大分で初めてのプロジェクトです。

旧豊後森機関庫は年3万人が訪れる観光スポットですが、滞在時間が短く観光拠点となっていないことが課題となっています。本機関庫を望むカフェ及び多目的交流スペースを開所し観光拠点とすることで、町内外の交流人口を増やすことが狙いです。本施設は玖珠町初のA型（※）事業所（就労移行支援、グループホームも同時開設）です。20人の障害者の雇用を目標とし、彼らが地域活性の担い手となることを目指します。本施設は式当日（午後）より一般向けにオープンします。

ご取材いただける場合は別紙に記入の上、6月8日（金）17:00までにご返信をお願いいたします。

※障害者と雇用契約を結ぶ就労支援事業。

「玖珠・森のクレヨン」／「森の米蔵」開所式

日時：2018年6月10日（日）10:00～10:30

場所：「玖珠・森のクレヨン」／「森の米蔵」

- 内容：1）挨拶 宿利政和（玖珠町町長）
尾形武寿（日本財団理事長）
丹羽一誠（暁雲福祉会理事長）
2）祝辞 広瀬勝貞（大分県知事）
3）事業概要説明（暁雲福祉会）



年間3万人が訪れる旧豊後森機関庫

10:35以降、テープカット・フォトセッション（バルーンリリース）・試食・ミニトレイン運行等の各種イベントを実施します。（雨天の場合は予定変更の可能性あり）

※画像データ提供については、お問い合わせ先までご連絡ください。

※フォトセッションの際は、前方にフェンス（1.5m）があるため脚立などの準備をお願いいたします。

<リリースに関するお問い合わせ先>

日本財団 コミュニケーション部 飯澤
〒107-8404 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル
TEL: 03-6229-5131 / FAX: 03-6229-5130 E-mail: pr@ps.nippon-foundation.or.jp
日本財団は、ポータルサイトの売上を財源に福祉/教育/国際貢献/海洋・船舶等の分野で公益活動を推進しています。

<当日のお問い合わせ先>

日本財団 コミュニケーション部 飯澤 TEL: 080-1295-2238

「玖珠・森のクレヨン」／「森の米蔵」基本情報

1. カフェ・レストラン「玖珠・森のクレヨン」:

玖珠米を活用した、食の魅力の発信
鉄道を120%楽しむ展望席

特Aランクの玖珠米や米粉（ひとめぼれ）を使用した食事や、機関車にちなんだ多彩なメニューを提供し、ここでしか体験できない味で地産地消を目指します。

店内からは、「ゆふいんの森号」などの電車を間近に見られます。

営業時間：（ベーカリー）10:00~17:00

（カフェ・レストラン）11:00~17:00

定休日：月曜日（※祝日の場合は営業）・火曜日

店舗席数：36席



カフェ・レストラン「玖珠・森のクレヨン」（左）と、多目的交流スペース「森の米蔵」（右）

2. 多目的交流スペース「森の米蔵」:

昭和の原風景残る「旧森南部米倉庫」を活用

昭和初期に建てられた土蔵造りの倉庫をリノベーションし、展覧会や音楽イベントなど、様々な目的に使用できる地域の交流拠点となります。



米倉庫をリノベーションした多目的交流スペース「森の米蔵」

現時点では、2棟全体で14名の障害者が就労予定です。

「玖珠町地方創生プロジェクト」の特徴

1. 障害者が地域活性に貢献

玖珠町で初めての就労継続支援A型の施設です。また、就労移行支援事業、共同生活援助事業（グループホーム）も開設します。大分県は障害者雇用率日本一を目指しており、就労継続支援事業所の整備により障害者のはたらく場所を増やす取り組みを行っています。

2. 全国的に珍しい「旧豊後森機関庫」

昭和9年完成の旧豊後森機関庫は現存する扇型機関庫と転車台としては全国的にも珍しく、九州では唯一の場所です。近代化産業文化遺産（経済産業省）認定、登録有形文化財（文化庁）に登録されています。これまで、玖珠町と大分県が協力し観光地化が図られてきました。

日本財団「はたらくNIPPON! 計画」

日本財団は、2015年4月より「就労モデルの構築」と「人材育成」を2本柱として、障害者就労の環境改善を目指し「はたらくNIPPON! 計画」プロジェクトを全国で展開しています。今回の「玖珠町地方創生プロジェクト」も本プロジェクトの一環です。 <http://hataraku-nippon.jp/>